

会 議 記 録

会議名 建設常任委員会

開催日 平成27年6月11日(木) 開会 午前10時00分

閉会 午前10時24分

出席者 委 員 委員長 岡 賢 治
大 谷 好 一 大 出 三 夫 大阿久 岩 人
長 芳 孝 入 野 登志子 海老原 恵 子
高 岩 義 祐
議 長 関 口 孫一郎
傍 聴 者 青 木 一 男 針 谷 育 造 坂 東 一 敏
広 瀬 昌 子 小久保 かおる 白 石 幹 男
平 池 紘 士 針 谷 正 夫 大 川 秀 子
福 富 善 明 大 武 真 一 小 堀 良 江
福 田 裕 司

事務局職員 事務局 長 赤羽根 則 男 議事課長 稲 葉 隆 造
主 査 福 田 博 紀 主 任 中 野 宏 仙

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

建設水道部長	鈴木	進
道路課長	田中	良一

平成27年第2回栃木市議会定例会
建設常任委員会議事日程

平成27年6月11日 午前10時開議 全員協議会室

追加日程 委員長辞任の許可

追加日程 委員長の互選

日程第1 議案第64号 平成27年度栃木市一般会計補正予算（第1号）（所管関係部分）

◎開会及び開議の宣告

○委員長（入野登志子君） ただいまの出席委員は8名で、定足数に達しております。

ただいまから建設常任委員会を開会いたします。

（午前10時00分）

◎諸報告

○委員長（入野登志子君） 当常任委員会に付託された案件は、各常任委員会議案等付託区分表のとおりであります。

◎議事日程の報告

○委員長（入野登志子君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎委員長辞任の許可

○委員長（入野登志子君） ただいまから議事に入ります。

ここで、都合により副委員長と交代いたします。よろしくお願いいたします。

〔委員長、副委員長と交代〕

○副委員長（大谷好一君） 委員長にかわりまして副委員長の私が委員長の職務を行います。よろしくお願いいたします。

入野登志子委員長から本日付で建設常任委員会委員長の辞任願が提出されております。

この際、委員長辞任の件を日程に追加し、議題といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（大谷好一君） 異議なしと認めます。

したがって、委員長辞任の件を日程に追加し、議題といたします。

ここで、委員会条例第18条の規定に基づき、入野登志子委員の退席を求めます。

〔入野登志子君退席〕

○副委員長（大谷好一君） 初めに、辞任願を書記に朗読させます。

○書記（中野宏仙君） 朗読いたします。

辞任願

今般、一身上の都合により、本日をもって建設常任委員会委員長の職を辞任したいので、許可されるようお願いいたします。

平成27年6月11日

栃木市議会議長 関口孫一郎様

以上でございます。

○副委員長（大谷好一君） お諮りいたします。

入野登志子委員の委員長辞任を許可することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（大谷好一君） ご異議なしと認めます。

したがいまして、入野登志子委員の委員長辞任を許可することに決定いたしました。

入野登志子委員の着席を許します。

〔入野登志子君着席〕

◎日程の追加

○副委員長（大谷好一君） ただいま委員長が欠員となっております。

お諮りいたします。この際、委員長の互選を日程に追加したいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（大谷好一君） ご異議なしと認めます。

したがいまして、委員長の互選を日程に追加いたします。

◎委員長の互選

○副委員長（大谷好一君） 委員長の互選は、どのように取り計らえばよろしいか、その方法についてお諮りいたします。

大出委員。

○委員（大出三夫君） 委員長につきましては、指名推選の方法がよろしいと思えます。

○副委員長（大谷好一君） 指名推選の方法により委員長を互選することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（大谷好一君） ご異議なしと認めます。

したがいまして、指名推選の方法により委員長を互選することといたします。

お諮りいたします。委員長にはどなたを指名いたしましょうか。

入野委員。

○委員（入野登志子君） 岡委員を推薦したいと思えます。

○副委員長（大谷好一君） ただいま岡委員との声がありましたが、委員長に岡委員を互選することにご異議ありませんか。

〔「ちょっといいですか」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（大谷好一君） 海老原委員。

○委員（海老原恵子君） 今入野委員から岡委員を推薦していただきました。しかしながら、会派は大樹でございますので、大樹は3つの委員会を委員長としていただくこととなります。その点につきまして、皆さんご異議がないかどうかということについて、しっかりと話し合っていたきたいというふうに思います。

○副委員長（大谷好一君） ただいま海老原委員からそのような説明がございましたが、それに対処していかげいたしましょうか。

大出委員。

○委員（大出三夫君） 会派につきましては、人数の多い会派と無会派もございます。そういうことで、要はこの委員会の中から適任者ということで決めるのがよろしいのではないかと思います。

○副委員長（大谷好一君） ただいま大出委員から適任者というお話がありました。そのほかにご意見ございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（大谷好一君） よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（大谷好一君） それでは、委員長に岡委員を互選することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（大谷好一君） ご異議なしと認めます。

したがいまして、建設常任委員会委員長は、岡委員と決定いたしました。

ここで委員長と交代いたします。

〔副委員長、委員長と交代〕

○委員長（岡 賢治君） 皆様、おはようございます。新委員長になりました岡賢治でございます。

1年間一生懸命、前委員長に負けないように頑張ってまいりたいと思います。また、皆様にはしっかりとご指導、ご協力をお願いしなければなかなか建設委員会が務まりませんので、よろしく願いいたします。

また、きょうは非常にボリュームが少ないのですが、しっかりと慎重審議をお願いして挨拶いたします。よろしく願いいたします。

◎議案第64号の上程、説明、質疑、討論、採決

○委員長（岡 賢治君） 次に、日程第1、議案第64号 平成27年度栃木市一般会計補正予算（第1号）の所管関係部分を議題といたします。

当局から説明をお願いいたします。

田中道路課長。

○道路課長（田中良一君） おはようございます。本日はよろしくお願いたします。

ただいまご上程いただきました議案第64号 平成27年度栃木市一般会計補正予算（第1号）のうち所管関係部分につきましてご説明いたします。

まず、補正予算書の36、37ページをお開き願います。8款1項1目土木総務費につきましてご説明いたします。補正額は248万4,000円の増額でありまして、右の説明欄をごらんください。スマートインターチェンジ設置調査事業費につきましては、昨年度スマートインターチェンジの整備事業要綱が新たに制定されたこと及びその後の関係機関との協議の結果、当初予算時に想定していたよりもパーキングエリアへの取り付け位置や線形等につきまして、広範囲で検討していく必要が生じ、その資料作成のための測量設計業務の作業項目が増えたため、これに必要となる委託料を増額するものであります。

続きまして、38、39ページをお開きください。2項3目道路新設改良費につきましてご説明いたします。補正額は1,150万円の増額でありまして、右の説明欄をごらんください。市道各号線道路改良事業費（栃木）につきましては、緊急を要します市道各号線の整備に対する経費でありまして、大宮町地内市道B42号線道路改良事業として一部区間が長年の間未整備となっておりましたことから、今回地権者との交渉の結果、事業について協力を得ることができたことから、測量設計等委託料、道路拡幅工事費、拡幅用地購入費及び市道拡幅物件移転等補償金をそれぞれ増額するものであります。

以上で所管関係部分の説明を終了させていただきます。ご審議のほどをよろしくお願いたします。

○委員長（岡 賢治君） 以上で当局の説明は終わりました。

ただいまから質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法で、ページ数もお知らせお願いたします。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 37ページのスマートインターチェンジの、ここに調査費事業という言葉も入っておりますので、その調査というのは、測量とかいろいろあるかと思うのですが、この現地の説明とか、そういうものというのは、この予算ではなく別予算なのですか。

○委員長（岡 賢治君） 田中課長。

○道路課長（田中良一君） ご質問にお答えします。

説明会等に要する費用につきましては、この予算には計上しておりませんが、説明会につきましては、既存の資料とか業務委託等の資料を用いましてやっていく予定でございますので、今後地元にてできるだけ早く説明していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（岡 賢治君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） この測量という段階に、やっぱり地元の協力を得ないとなかなか私はゴールというか完成しないかなという気がしますので、地元の説明というのもきちっとお願いをしたいと思います。要望で結構です。

○委員長（岡 賢治君） ほかに質疑はありませんか。

大谷副委員長。

○副委員長（大谷好一君） 同じく37ページなのですが、スマートインターチェンジ設置までの年次計画、もしできていましたら教えていただきたいと思います。

○委員長（岡 賢治君） 田中課長。

○道路課長（田中良一君） このスマートインターチェンジの設置につきましては、当初市としましては、平成23年度からいろいろ検討調査が始まったわけですが、現在これは3月の議会等でもご報告しているかとは思いますが、3月に第2回の勉強会ということで国とか県、あと高速道路株式会社等で構成します勉強会というのを開催しております。それを経まして、今年度については、先ほどの補正予算でお認めいただければというふうに考えております調査設計業務を行いまして、今年度中にこの勉強会を一步進んだ形の地区協議会という会を設立しまして、そこで高速道路と市道、県道等の接続を申請する連結許可申請というのを今年度中に申請していくという予定で考えております。そのための先ほどの業務委託は、そういう資料のもとになるものですが、それを経まして、用地測量等詳細な設計を来年度しまして、おおむね平成32年度を一応目標に考えております。これについては、私どものいろいろ希望的な部分もありますので、今後より詳細な協議をネクスコ株式会社とか国等と協議を経た上でということで、これから進んでまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（岡 賢治君） 大谷副委員長。

○副委員長（大谷好一君） ちょっとわからないのでお聞きしたいのですが、その設置するに当たり、車両の通行量とか大型とか普通車とか、そういう規定とかはございますか。

○委員長（岡 賢治君） 田中課長。

○道路課長（田中良一君） 現在私どもで今考えていますのは、大型車も乗り入れができるような設計で考えております。これについては、先ほど言いました連結許可申請ということでお認めをいただきたいというふうに、いろいろな詳細の設計に取り組んでいるところでございます。

以上です。

○委員長（岡 賢治君） ほかに質疑はありませんか。

長委員。

○委員（長 芳孝君） 私も都賀西方スマートインターチェンジは地元でございまして、私も一般質

間でも取り上げたのですけれども、つがの里と、それから道の駅にしかた、これにこのスマートインターチェンジができれば、東北のほうからもそれから都会のほうからも、都市のほうからも非常に大勢のお客さんが来てくれると思います。今大型車という話もありましたけれども、そういうことも含めて、特に今都賀の場合には、つがの里へ北のほうから大型車が通るような道路がないものですから、今ちょっといろいろ問題が、地権者との問題があるものですから、これから協議会を立ち上げるというような話なのですけれども、そういうことも含めてしっかりやっていただきたいと思いますけれども、その辺の考え方をお伺いしたいと思います。

○委員長（岡 賢治君） 田中課長。

○道路課長（田中良一君） まさに今回設置を予定しております都賀西方パーキングエリアの周辺には、つがの里を初めとする市のそういう施設がございますので、相乗効果が発揮できて活性化されますような形でこの事業推進に当たっていきたいというふうに考えております。

○委員長（岡 賢治君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） 39ページの市道各号線道路改良事業費（栃木）で、大宮町地内の緊急を要するということ、長い間未整備だったということを今説明いただきまして、どのような状況で緊急を要するのかお伺いしたいと思います。

○委員長（岡 賢治君） 田中課長。

○道路課長（田中良一君） 今回の路線につきましては、B42号線ということで、場所的には東陽中学校の西側のほうに位置します。ほとんどこの道路につきましては、東陽中に向かう生徒さんが通学路として使っている道路でありまして、今回の箇所については非常に幅員が狭いと。部分的に狭いということで、長年交渉に当たってきたわけなのですけれども、そういうことで、そこについては、東陽中の生徒さんの約2割近くがそこを自転車であるとか徒歩であるとかで通学しているということもありますので、一刻も早くその通学の安全・安心を確保していきたいということで今回計上させていただきました。

○委員長（岡 賢治君） 入野委員。

○委員（入野登志子君） わかりました。東陽中の学生さんが2割ほど通るところということであれば、緊急に整備しなければいけないと思います。地主さんの方から協力を得られたということで、今までも危険な場所であればお願いはされていたと思いますし、急に気持ちが変わったということであるのかなと思うのですけれども、その辺の対応はどのようにされてきたのでしょうか。

○委員長（岡 賢治君） 田中課長。

○道路課長（田中良一君） この箇所につきましては、先ほど長年という言い方をしましたけれども、一応継続的には交渉はしてきたのですが、やっぱり予算をいただくということになりますと、ある程度見通しが立たないとならないということで、今回予算を計上させてもらいましたけれども、やっぱり話が前よりも一歩進んだということで、一刻も早く予算を計上させていただいて、地主さん

にもその協力の意向に応えたいということで考えたわけでございます。ですから、粘り強くやってきたという中で結果ということでご理解をいただきたいと思います。

○委員長（岡 賢治君） ほかに質疑はありませんか。

長委員。

○委員（長 芳孝君） では、関連の質問なのですが、その距離です。どれくらいの長さで、幅員はどういうふうな状況でつくるのだということもちょっと説明していただけますか、よろしくをお願いします。

○委員長（岡 賢治君） 田中課長。

○道路課長（田中良一君） 延長につきましては、約75メートルの区間でございます。一応計画の幅員としましては、一応5メートルの計画幅員で予定しております。

以上です。

○委員長（岡 賢治君） ほかに質疑はありませんか。

大谷副委員長。

○副委員長（大谷好一君） メーンが通学路ということで、幅員5メートルですと歩道とか自転車道はどうなるのでしょうか。

○委員長（岡 賢治君） 田中課長。

○道路課長（田中良一君） この5メートルの中では、そういう歩道と分離することはできませんので、車道と歩道は兼用でという形になります。その辺について、その集落自体も前後の道路自体が歩道とか設置されているわけではありませんので、一連の中では支障ないのかなというふうに考えております。

あと、今回の箇所から東に広域農道を横断する箇所があります。その辺までは集落内を通過するものですから、ある程度無謀運転というか、そういう運転はそんなにされないのかというふうには考えておりますので、歩行者の安全は、そういうところについては、支障はないというふうに考えております。

○委員長（岡 賢治君） 大谷副委員長。

○副委員長（大谷好一君） トータルの考え方なのですが、栃木市の場合、やっぱり道路の整備が非常におくれていると思うのです。特に学校近くの歩道の整備、これは要望になりますが、全体的に学校の近くをまず早急に整備していただくようよろしくお願いいたします。

○委員長（岡 賢治君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡 賢治君） ないようでありますから、これをもって質疑を終了いたします。

ただいまから討論に入ります。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡 賢治君） 討論省略の声がありますが、討論を省略することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡 賢治君） ご異議なしと認め、討論を省略することに決定いたしました。

ただいまから議案第64号 平成27年度栃木市一般会計補正予算（第1号）の所管関係部分を採決いたします。

本案は原案を可決すべきものとする事にご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡 賢治君） ご異議なしと認めます。

したがいまして、議案第64号の所管関係部分は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

◎閉会の宣告

○委員長（岡 賢治君） 以上で当常任委員会の審査は終了いたします。

なお、審査報告書及び委員長報告の作成については、正副委員長にご一任願います。

これをもって建設常任委員会を閉会いたします。

ご苦勞さまでした。

（午前10時24分）